

女性のための キャリアデザイン プログラム

～自分らしく描く働き方～



横浜市内企業の女性管理職割合は、課長職で男性8割強に対して女性2割弱となっています。

(注)女性管理職が少ない要因について企業に問うた際の回答は「女性本人が希望しない」がトップでした。

女性が管理職を希望しない理由の一つは「不安」。育児などのプライベートと仕事の両立、リーダーとしてチームをひっぱっていく資質が自分にあるか…。その不安を自分らしい働き方の原動力に変えて、ひとりひとりの活躍を応援するプログラムです。

注)横浜市「男女共同参画に関する事業所調査(令和2年版)」より



■講師 小安美和(こやすみわ) Will Lab代表取締役

1995年、日本経済新聞社入社。2000年に配偶者の海外転勤に伴い退社。シンガポールの出版社勤務を経て、日系通信社記者に。帰国後、2005年(株)リクルート入社。住宅、旅行メディアのプロデューサーを経て、中国・上海で「ゼクシィ」の商品責任者を担当。2013年より(株)リクルートジョブズ執行役員。2016年4月より独立。同年6月スイスのビジネススクールIMDにて「女性のための戦略的リーダーシップ」プログラム修了。現在、Will Lab 代表取締役として企業他の女性活躍プログラムの設計、運営などに携わる。

研修内容

実施時間はすべて13:30~16:45

これからの女性の生き方、働き方

～一步踏み出せば、自分も周囲も変わる～

ゲストトーク 浜田敬子さん (ジャーナリスト)



1989年朝日新聞社入社。1999年からAERA編集部。2004年からはAERA副編集長。その後、編集長代理を経て、AERA初の女性編集長に就任。2017年3月末で朝日新聞社退社。2017年4月より世界17カ国に展開するオンライン経済メディアの日本版統括編集長に就任。2020年12月末で退任して、フリージャーナリストに。「羽鳥慎一モーニングショー」や「サンデーモーニング」などのコメンテーター、ダイバーシティや働き方改革についての講演なども行う。著書『働く女子と罪悪感』(集英社)

◆共催者挨拶

吉永崇史 (横浜市立大学 学術院 国際総合科学群 教授／キャリア支援センター長)

1回目
10月20日
(木)

中長期視点でありたい姿を描く

- ・ロールモデルから学ぶ多様なキャリア
- ・人生100年時代の生き方、働き方

2回目
11月24日
(木)

ありたい姿を形にするために

- ・ロジカルシンキングの基礎を身につける
- ・他者を動かすプレゼンテーションを学ぶ

3回目
12月15日
(木)

プレリーダー層にこそ必要なマインドセット

「働き方の多様化が進む一方で、ワークライフバランスに迷う。自分の将来像が見通せない…」

このような悩みを抱えがちなのが20代後半～30代の働く女性。企業にとっては今後の活躍を期待するプレリーダー層です。このプログラムでは、自身の強み・弱みを把握しながらキャリアを描き、仕事と向き合うマインド作りを目指します。

- ◆日 時 2022年10月20日(木)、11月24日(木)、12月15日(木) 全3回
13:30～16:45
- ◆定 員 20名
- ◆募集対象 入職5～8年程度の女性 / 原則として連続3回参加できる方
※1社2名まで、多数の場合、抽選とさせていただきます。
- ◆会 場 横浜市立大学みなとみらいサテライトキャンパス
- ◆参 加 費 10,000円(全3回) ※参加決定後にお支払方法等ご案内いたします。

- ◆会場 横浜市立大学
みなとみらいサテライトキャンパス

◆会場へのアクセス

〒220-8107
横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号
横浜ランドマークタワー7階

- ◆桜木町駅(JR・市営地下鉄)から動く歩道で
徒歩5分
- ◆みなとみらい駅(みなとみらい線)から徒歩3分
※お車での来場はご遠慮ください。



◆お申込み方法

受講される方の情報(氏名、所属、連絡先、入社年数、年代)をご記入の上、下記アドレスまでメールで送信ください。(申し込み多数の場合抽選)

メール : yjkoza@women.city.yokohama.jp

◆受付期間 9月1日(木)～13日(火)

◆お問合せ

(公財)横浜市男女共同参画推進協会
男女共同参画センター横浜 管理事業課
〒244-0816
横浜市戸塚区上倉田町435番1
電話:045(862)5052

●提供された個人情報は、今回の事業実施のみに利用し、その他の目的で利用することはありません。
●ただし、新型コロナウィルス感染症拡大防止対策の目的で、行政機関等から、法令に基づき情報の開示を求められた場合は、第三者への提供を行うことがあります。

主催：男女共同参画センター横浜((公財)横浜市男女共同参画推進協会)

共催：横浜市立大学